

2022年
293号

10月19日(水)



全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



第63回シテイウォーク 権現堂公園 曼殊沙華祭り

雲一つない秋晴れの9月26日(月)、コロナ感染も一段落したので、久しぶりに越谷を離れ電車に乗って郊外へ。今回のシテイウォークは3年ぶりの「曼殊沙華祭り」真最中の幸手の権現堂公園に行きました。

9時に新越谷駅の下りホームに集合したのは吉田健治、古川正治、五十嵐光範、不破千代江、浅子豊、舟山弘子、丸山やぶさんの七人。今回は電車を決めておいて、最寄りの駅から乗り合わせる方法を採用しました。

初めて参加された方が6人もいました。降りたのは幸手駅、初めて降りたという方が何人もいました。最高年齢88歳の方もいたので駅からバスも検討しましたが1時間に1本、ご本人も元氣だということで予定どおりウォーキングに。初めての場所はいつでも物珍しく感じられます。駅から10分ほどで幸宮神社に。ここで小休憩、ウォーキングなので少し遠回りしながら権現堂桜堤へ向かいました。この日は非常に天気が良く、暑く風も無かったので疲れがたまり、休憩が必要な方がでて途中の木陰で休憩、そのまますぐ食休憩となりました。暑かったので、持参した缶ビールや手料理を分け合いおいしくいただきました。元気がでたところで再度権現堂桜堤へ。そこで写真をとりました。

堤の両側は約500万本の真っ赤な曼殊沙華(彼岸花)が咲き誇り見事でした。早めにバスで帰りたいという方が何人かいたので、南栗橋駅に向かう途中のバス停(幸手行き)で途中解散にし、6名がバスを待ちました。残りの9名は南栗橋まで権現堂桜堤へ30分ほどのウォーキング。始発電車で帰宅。約1万5千歩でした。(五十嵐)

仲間に入って 第二の人生を 楽しめよう

この3年間、コロナ感染で自粛が続いている中、9月27日(火)岸田文雄首相は憲法違反の国葬を強行しました。これは憲法9条を改悪し、戦争への道に進もうとする一歩です。

私たち年金者組合員は、体力は低下し、年金者組合運動にも多大な影響が表れていきます。多くの仲間が死亡したり、病院や施設に入院する組合員が出ています。

又、外出も出来ず、サークル活動や昼食会にも参加出来ないからと「退会」する人が出ています。

特に役員は高齢と体力の低下で、役員を去る人が出てきています。新しく引き受けてくれる人が見つからなくて、こまっっている班が出てきています。

高齢者の暮らしは、第2次安倍政権から続く年金削減や一般の物価高で非常にひっ迫しています。医療に続き、介護でも負担増・給付削減が実施されれば、必要な介護を受けられない事態や生活破壊がますます深刻化します。

こういう状況だからこそ年金者組合の役割は重要です。コロナ感染の高止まりしている中での仲間づくりは大変ですが、この秋の仲間増やし月間で10名の仲間を加入させようという目標を立てました。知人・友人に積極的に呼び

点 睛

政治の仕事は
国民を飢えさせないこと

暑さ寒さも彼岸まで「の言い伝えどおり、涼しさを一足飛びで、朝晩は肌寒さを感じる今日このごろです。

組合員の皆さん、いかがお過ごしですか。

芸術の秋、スポーツの秋……と、秋にちなんだ言い方にはさまざまありますが、私にとって生活困難——怒り心頭の秋です。

10月1日以降、次々と物価が上がり、飲食関係で6700品目に及び、一世帯当たり、平均、月5700円の負担増になるとのことです。それ以外にも、日用品、公共料金など軒並みの値上げラッシュです。

年金生活者にとつての、更なる追い打ちは、6月の年金削減0.4%につづく、高齢者の医療費2倍への値上げです、370万人が該当すると言われます。

多くの人たちが困難にあえいでいるのに、政府は見えて見ぬふり、国葬には数億円、軍事費は倍増と税金を湯水のように使おうとしています。

私たちは、もつと非道な政治に怒りをぶつけてよいのではないだろうか。

私の敬愛する俳優の故菅原文太さんは、生前、次のように語っていました。

政治の仕事は、国民を飢えさせないこと、そして、戦争に巻き込まないことだ。

怒髪天を衝く——長年の労苦で髪はすいぶん薄くなりましたが——悪政を追いつめ退陣させるために、力を合わせ声を大きく挙げて、世の中をより過ごしやすくするためにがんばりましょう。

(広瀬久雄)

かけてください。
「仲間に入って第二の人生を楽しみましょう」と。

越谷支部 支部長 吉田健治

3年振りに中央市民会館裏中土手で『いも煮会&誕生会』を行います

コロナを意識しながら、飲食を楽しみましょう！ 知人・友人に呼びかけましょう！